

第33回

有島武郎青少年公募絵画展

有島記念館 Arishima Takeo Memorial Museum

## 有島記念館の若手芸術家応援の取り組みについて

有島記念館では、美術、音楽など若手芸術家に発表の場を提供するために2012年より展覧会やコンサート事業などさまざまな取り組みを行っています。美術関連では、過去の「有島武郎青少年公募絵画展」入選・出品者をはじめとして、活発な活動を行う作家を企画展「有島記念館若手作家展」シリーズとして紹介してきています。

このほか、35歳以下の作家を対象とした「平成の『生れ出づる悩み』コンテスト」を隔年で開催しています。また、2016年度より当館で紹介した若手作家の作品の購入・收藏を行い、その活動を後世へ伝える取り組みも行っています。



### 過去の「有島記念館若手作家展」

- 第1回：「再会-reunion展」(2013年)
- 第2回：「山下隆博写真展」・「新見亜矢子展」(2015年)
- 第3回：「平成の『生れ出づる悩み』2014展」(2015年)
- 第4回：「駒澤千波展」(2015年)
- 第5回：「石垣渉展」(2016年)
- 第6回：「カトウタツヤ展」(2017年)
- 第7回：「河野健展」(2017年)
- 第8回：「平成の『生れ出づる悩み』2016展」(2017年)
- 第9回：「曾田千夏展」(2019年)

作品を購入・收藏した若手作家

山下隆博、新見亜矢子、駒澤千波、石垣渉、カトウタツヤ、河野健、曾田千夏  
(敬称略)



有島 武郎 Arishima Takeo

1878(明治11)年生まれ。『或る女』、『カインの末裔』などの代表作で知られる小説家。東北帝国大学農科大学教官時代には、美術同好会「黒百合会」の創立に関与するなど、北海道の美術史にも足跡を残す。

1918(大正7)年から発表された有島武郎の小説『生れ出づる悩み』は、のちの画家・木田金次郎が自らの境遇や絵画制作を続けるか否かに悩んでいた時、偶然に有島の住まいを見つけて、訪問した事実がモデルとなっている。木田は、この運命的な出会いをきっかけとして、有島の励ましを受けながら、郷土・岩内の自然と深く対峙して、画業を極めていく。この作品に描かれる、芸術と実生活との間で苦悩しながらも、絵を描こうとする芸術家の姿は、多くの読者の共感を得て、有島の代表作の一つと称されている。

1922(大正11)年、狩太(現・ニセコ町)に所有した自らの農場を無償解放し、翌年に軽井沢で没する。

(5) 高校イラスト

反抗心	廣田 紗 彩	北海道北見柏陽高等学校2年
魅惑の季節	佐藤 杏 南	札幌大谷高等学校3年
あなたの選択	長井 崇 晃	札幌大谷高等学校3年
sky burial	中村 柚 葉	北海道釧路湖陵高等学校2年

(6) 中学イラスト

マジックショー	佐々木 唯	恵庭市立恵明中学校3年
威嚇	川口 航 平	札幌市立啓明中学校2年
おんなのコは誰でも	梶 美 優	岩内町立岩内第二中学校3年
かつての都市	畑 芽 吹	札幌市立前田中学校3年
真夜中の sky-high	三田 彩 葉	倶知安町立倶知安中学校2年

第33回  
有島武郎青少年公募絵画展

『第33回有島武郎青少年公募絵画展』統計

応募作品	262点	入賞・入選作品	98点
高校油彩	127点	高校油彩	48点
高校水彩	13点	高校水彩	6点
高校イラスト	13点	高校イラスト	8点
中学油彩	49点	中学油彩	17点
中学水彩	46点	中学水彩	12点
中学イラスト	14点	中学イラスト	7点

図録『第33回有島武郎青少年公募絵画展』

発行日

2021年10月23日初版発行

編集・発行

ニセコ・有島記念館  
〒048-1531 北海道虻田郡ニセコ町字有島57

印刷・製本

株式会社サンコー

この展覧会図録の編集・デザインは伊藤大介(有島記念館主任学芸員)が担当しました。

会期

2021年10月23日(土)～11月7日(日)

会場

有島記念館 特別展示室

主催

ニセコ町 北海道新聞社

主管

ニセコ町教育委員会

後援

北海道 北海道教育委員会

## ごあいさつ

このたび有島記念館では、「第33回有島武郎青少年公募絵画展」を開催します。

当館が顕彰する有島武郎は、大正期を代表する白樺派の作家であるとともに、明治期の北海道における美術史にも足跡を残しました。武郎は、1908(明治41)年、東北帝国大学農科大学美術同好会「黒百合会」の創設に関与します。同会個展では、武郎は自作を出品するほか、美術雑誌としての側面を持っていた雑誌『白樺』の同人でもあったことから、後期印象派やロダンの彫刻作品などを展示紹介しました。この個展で武郎の作品に深い感銘を受けたのは、若き日の木田金次郎です。その後、武郎は木田を励まし続け、木田は郷土に根ざした画家として歩みを始めるのです。

有島記念館では、有島武郎が持っていたこの美術振興の精神を継承するため、1989(平成元)年より本公募絵画展を開催しております。

今回は北海道内各地から、262点に及ぶ応募作品が寄せられ、10月14日、15日の両日に行われた審査会《審査委員長:佐藤友哉氏(札幌芸術の森美術館館長・美術評論家)、審査員:佐藤光雄氏(画家・全道展会員)、西村明美氏(画家・道展会員)、寺嶋弘道(有島記念館館長)》によって、入賞・入選作品98点が決定しました。

今後、入賞・入選されたみなさんが切磋琢磨し、北海道はもとより、日本、そして世界をまたにかけて活動するアーティストへと、また美術活動に理解のある大人として成長していただくことが、主催者としての望みです。

最後になりましたが、この公募展の開催にあたり、出品者をはじめ、中学校及び高等学校美術教諭のみなさまなど、多くの方々にご協力を賜りました。ここに厚く御礼申し上げます。

ニセコ町  
北海道新聞社

## (2) 中学油彩

水圧  
龍と虎  
あの日の戯れ  
雲間の私の妄想  
大地の果て  
紫陽花  
窓から見る道の先には…  
宝  
優美  
YUYAKE  
ひとりじめ  
宇宙の出会い  
スイーツの世界  
夜の番人  
好奇心  
仮面

千葉ひなつ 札幌大谷中学校2年  
豊原愛深 札幌大谷中学校2年  
山田玲 札幌大谷中学校2年  
長内桜華 札幌大谷中学校3年  
安藤れいな 札幌市立宮の丘中学校3年  
三間佳那 札幌市立宮の丘中学校3年  
石川心和 石狩市立浜益中学校2年  
泉春亜 札幌市立清田中学校1年  
森若菜 札幌市立平岡中央中学校2年  
杉本三佳 札幌市立向陵中学校3年  
横溝柚穂 札幌市立陵北中学校3年  
安齋綾祢 三笠市立三笠中学校1年  
野崎蓮花 月形町立月形中学校1年  
田澤亮介 札幌市立東栄中学校2年  
大井佑馬 札幌市立柏中学校1年  
小林恵都 星槎もみじ中学校2年

## (3) 高校水彩

夕暮れ  
夏の日  
お花  
視線

長島ひなた 札幌大谷高等学校1年  
岩本紗奈 札幌大谷高等学校2年  
橋本由香 札幌大谷高等学校2年  
加賀谷仁心 市立札幌平岸高等学校2年

## (4) 中学水彩

神社  
雨が降り続ける地  
公園  
足元を照らせば  
学び舎は清涼剤  
いつもの二人  
山ぶどうの季節  
心うるおす名水  
ぬくもりの宿  
健やかな未来  
天に泳ぐ  
サンカクケイ

伊藤咲耶 札幌市立宮の丘中学校1年  
武田優真 札幌市立宮の丘中学校1年  
矢田結愛 札幌市立宮の丘中学校1年  
齋藤愛珠 岩内町立岩内第二中学校2年  
加藤夏映良 岩内町立岩内第一中学校1年  
濱崎結衣 岩内町立岩内第一中学校1年  
倉谷健介 岩内町立岩内第一中学校2年  
佐々木明日香 岩内町立岩内第一中学校2年  
村本知香 岩内町立岩内第一中学校2年  
中越心優 岩内町立岩内第一中学校3年  
大平彩未 釧路市立青陵中学校3年  
馬屋原天 蘭越町立蘭越中学校3年

## 入選

### (1) 高校油彩

マグカップが冷たい時間	中 本 成	札幌大谷高等学校1年
もやもや	石 黒 信 乃	札幌大谷高等学校1年
着火	高 橋 季 世	札幌大谷高等学校1年
Fool kids	寺 崎 斗 真	札幌大谷高等学校1年
愛、わからず	安 部 静 香	札幌大谷高等学校1年
Check it out	神 谷 実 柚	札幌大谷高等学校2年
日常	吉 田 里 桜	札幌大谷高等学校2年
おでかけ	原 田 琴 葉	札幌大谷高等学校2年
おひるね	高 橋 亜 野 子	札幌大谷高等学校3年
貴方の風を感じていたい。	川 井 彩 奈	札幌大谷高等学校3年
悼光	矢 野 怜 音	札幌大谷高等学校3年
沈む	伊 藤 来 美	北海道北見柏陽高等学校2年
あかり	佐 藤 永	北海道北見柏陽高等学校2年
瞬き	山 本 和	北海道北見柏陽高等学校2年
夕焼けと鉄道	小 野 田 圭 志	北海道札幌啓成高等学校1年
ホルン	佐 藤 彩 夏	北海道札幌啓成高等学校1年
colour	島 田 純 圭	北海道札幌啓成高等学校2年
水明	佐 藤 菜 々 実	北海道岩内高等学校1年
Sweets Paradise	北 友 日 向 梨	北海道岩内高等学校2年
まんぞく	高 橋 咲 良	北海道岩内高等学校2年
誕生	三 浦 瑠 璃	北海道岩内高等学校2年
幸せな時間	栗 城 芽 唯	駒澤大学附属苫小牧高等学校2年
空花乱墜	後 藤 くるみ	市立函館高等学校1年
真	藤 井 優 菜	市立函館高等学校2年
積光	松 田 彩	市立函館高等学校2年
歴史	高 橋 琉 那	札幌厚別高等学校2年
刻	小 野 寺 楓	札幌厚別高等学校3年
帰途	櫻 庭 翔 玲	市立札幌平岸高等学校2年
りんちゃん	高 穂 亜 弥	北海道遠軽高等学校1年
食う理性	小 笠 原 千 香	北海高等学校3年
悠	太 子 裕 香	北海道江別高等学校1年

## 目次

### ごあいさつ

総評「第33回有島武郎青少年公募絵画展を審査して」 06  
佐藤友哉（札幌芸術の森美術館館長・美術評論家）

入賞作品図版 07  
入賞・入選作品一覧 19

### 審査委員

#### 審査委員長

佐藤友哉 氏（札幌芸術の森美術館館長・美術評論家）

#### 審査員

佐藤光雄 氏（画家・全道展会員）

羽山雅愉 氏（画家・道展会員） 欠席

西村明美 氏（画家・道展会員）

寺嶋弘道（有島記念館 館長）

以上の4氏により、2021年10月14日・15日の両日、  
有島記念館にて厳正な審査が行われました。

### 謝辞

本公募絵画展の開催にあたり、多くの方々にご協力を賜りました。  
厚く御礼申し上げます。

佐藤友哉

佐藤光雄

西村明美

羽山雅愉

北海道

北海道教育委員会

（順不同・敬称略）

## 講評「第33回有島武郎青少年公募絵画展を審査して」

佐藤 友哉 (さとう・ともよし=美術評論家、札幌芸術の森美術館館長)

33回を迎えた今回の出品作は262点。今年もコロナ禍の影響をほぼ見せずに済み、昨年を上回る応募があったことは幸이었다。

審査は、佐藤光雄（全道展会員）、西村明美（道展会員）の各氏に私に加わったが、今回の審査で特筆されるのは、審査員として新たに有島記念館の寺嶋弘道館長が加わったこと、また後志管内ニセコ町の配慮によって、審査員特別賞が設けられたことだ。

結果として98点が入賞・入選。上位6賞と15点の奨励賞のほかに5点の審査員特別賞が決定。審査そのものは大変な作業で、従来通りのかなりの厳選になった。しかし、これまでにない視点が生まれ、内容に新鮮さを加えることができたのではないかと思う。

また驚いたのは、全道の高校からの出品が過去最高の24校にも及んだことだ。水彩やイラストレーション、また中学部門にも配慮しながらの審査ではあったが、それによって入選作は高校の油彩部門が層を厚くするという結果になったことは否めないことだった。

出品内容の全体的な印象としては、学校生活や日常風景を題材とした作品が基調をなしているが、自己を凝視した幻想的な作風もこれまでになく多かったように思う。また制作技術の向上も見逃せない点だった。

いずれにせよ、この公募展ならではの若々しくひたむきな表現が数多くうかがえたが、これからも自分なりの視点で表現することを大切にしてもらいたいと思う。とくに今後は、絵画の窓口を広げようと設けられたイラストレーション部門の奮起を期待したい。

## 入賞・入選作品一覧

左より作品名、出品者名、出品者学校名、学年の順  
敬称略

### 有島武郎賞

夢の中へ…	鈴木 仁衣奈	札幌大谷高等学校3年	高校油彩
北海道知事賞			
いま	田中 菜々美	北海道有朋高等学校3年	高校イラスト
北海道教育長賞			
頑張った分だけ	樋渡 華菜	札幌大谷高等学校2年	高校油彩
ニセコ町長賞			
触れないで、	齊藤 瑠夏	駒澤大学附属苫小牧高等学校3年	高校油彩
ニセコ町教育長賞			
逆光	田中 こころ	北海道北見柏陽高等学校2年	高校油彩
北海道新聞社賞			
手の動くままに	竹内 優希	札幌大谷高等学校1年	高校油彩
審査員特別賞			
美学	谷水 流々香	札幌大谷高等学校2年	高校油彩
新涼	板川 茉瑚	北海道岩内高等学校2年	高校油彩
ゆきのせい	大坪 咲葉	北海道札幌南高等学校3年	高校油彩
夢の始まり	真鍋 紗姫	札幌市立上篠路中学校3年	中学油彩
挙式	藤田 彩音	市立札幌平岸高等学校1年	高校イラスト
奨励賞			
息を吸って深く君の声を聴く、	金谷 望央	札幌大谷高等学校2年	高校油彩
玉かぎる夢幻	豊岡 花月	札幌大谷高等学校3年	高校油彩
紫	藤野 はるか	北海道札幌啓成高等学校1年	高校油彩
杪夏	池本 想奈	北海道岩内高等学校1年	高校油彩
秋、見つけた	佐藤 胡華	駒澤大学附属苫小牧高等学校2年	高校油彩
共生	山本 遥香	札幌厚別高等学校2年	高校油彩
自慢の	尾形 聖	北海道遠軽高等学校2年	高校油彩
教室	河瀬 果鈴	北海道遠軽高等学校2年	高校油彩
ともだち	早川 友菜	北海道遠軽高等学校2年	高校油彩
無止	小黒 雪子	札幌大谷高等学校2年	高校水彩
共存	水野 花菜	北海道おといねっぶ美術工芸高等学校2年	高校水彩
メ	澤谷 創太	北海道北見柏陽高等学校3年	高校イラスト
とりのくに	黒沢 茅乃	札幌大谷高等学校3年	高校イラスト
好きなもの	新井 芽依	恵庭市立恵明中学校3年	中学イラスト
うさ王国復活祭 ～虹色の行進～	佑井 梨子	星槎もみじ中学校3年	中学イラスト





《とりのくに》高校イラスト  
黒沢 芽乃  
札幌大谷高等学校3年



《好きなもの》中学イラスト  
新井 芽依  
恵庭市立恵明中学校3年



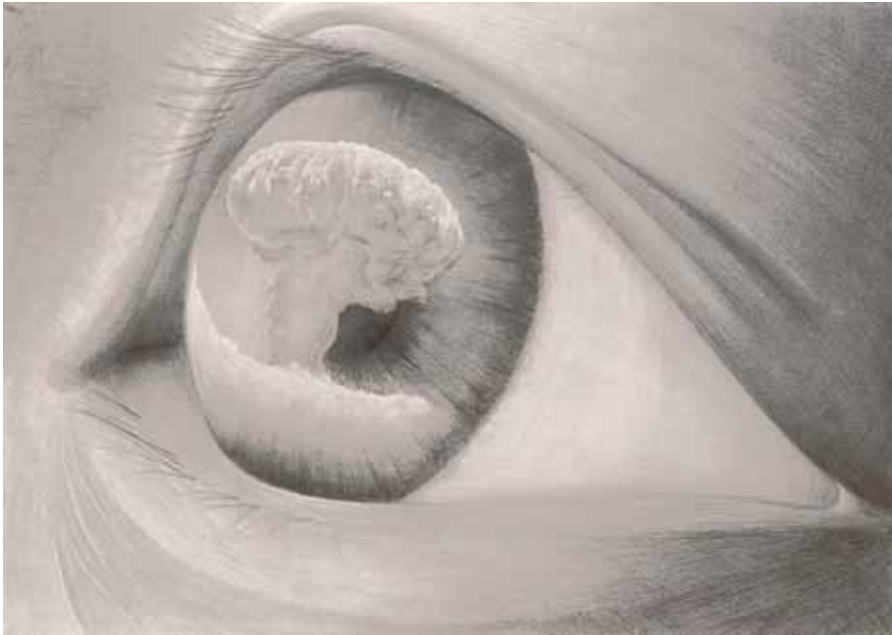
《うさ王国復活祭～虹色の行進～》中学イラスト  
佐井 梨子  
星槎もみじ中学校3年



《夢の中へ…》高校油彩  
鈴木 仁衣奈 札幌大谷高等学校3年

寸評

人物と動物たちがうごめく無意識の世界を描いた幻想的な作品。空間を支配する緑の諧調が神秘的な夢の世界を暗示。対象の的確な描写もみごと。 (佐藤友哉)



《いま》高校イラスト  
田中 菜々美 北海道有朋高等学校3年

寸評

眼（め）を大きくクローズアップし、瞳に映る原子爆弾のきのこ雲を描く。  
単純で明快な表現が強い訴求力を生み出していて秀逸。

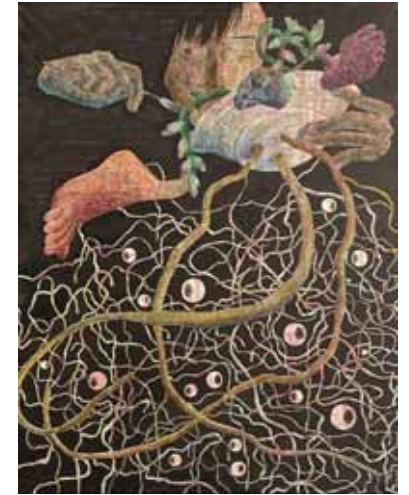
(佐藤友哉)



《ともだち》高校油彩  
早川 友菜  
北海道遠軽高等学校2年



《共依存》高校水彩  
水野 花菜  
北海道おといねっぶ美術工芸高等学校2年



《無止》高校水彩  
小黒 雪子  
札幌大谷高等学校2年



《メ》高校イラスト  
澤谷 創太  
北海道北見柏陽高等学校3年





《秋、見つけた》高校油彩  
佐藤 胡華  
駒澤大学附属苫小牧高等学校2年



《共生》高校油彩  
山本 遥香  
札幌厚別高等学校2年



《自慢の》高校油彩  
尾形 聖  
北海道遠軽高等学校2年



《教室》高校油彩  
河瀬 果鈴  
北海道遠軽高等学校2年



《頑張った分だけ》高校油彩  
樋渡 華菜 札幌大谷高等学校2年

寸評  
絵の具を手前に描き、ローアングルから制作に打ち込む人物をとらえた作品。  
ダイナミックな空間把握とスケッチブックの紙片がその熱気を伝える。  
(佐藤友哉)



《触れないで、》 高校油彩  
齊藤 瑠夏 駒澤大学附属苫小牧高等学校3年

寸評

テーブルに散乱したガラスや貴金属を描く。  
描かれたオブジェはきわめてリアルだが、物語を潜めたような象徴的な表現がユニーク。  
(佐藤友哉)



《息を吸って深く君の声を聴く、》 高校油彩  
金谷 望央  
札幌大谷高等学校2年



《玉かぎる夢幻》 高校油彩  
豊岡 花月  
札幌大谷高等学校3年



《紫》 高校油彩  
藤野 はるか  
北海道札幌啓成高等学校1年



《杪夏》 高校油彩  
池本 想奈  
北海道岩内高等学校1年





《ゆきのせい》高校油彩  
大坪 咲葉  
北海道札幌南高等学校3年



《拳式》高校イラスト  
藤田 彩音  
市立札幌平岸高等学校1年



《夢の始まり》中学油彩  
真鍋 紗姫  
札幌市立上篠路中学校3年



《逆光》高校油彩  
田中 ころろ 北海道北見柏陽高等学校2年

寸評

夕陽（ゆうひ）を真正面からとらえ、逆光の中に横向きの人物を大きく配した大胆な表現。光のコントラストの中に、真摯（しんし）な命の輝きを探る。

（佐藤友哉）



《手の動くままに》 高校油彩  
竹内 優希 札幌大谷高等学校1年

寸評

子どもの落書きと少女の描写を対比させ、描くことの楽しさをテーマにした意欲作。  
子どもに過去の自分を重ねているようにも見えて興味深い。

(佐藤友哉)



《美学》 高校油彩  
谷水 流々香  
札幌大谷高等学校2年



《新涼》 高校油彩  
板川 茉莉  
北海道岩内高等学校2年